

平成21年度 あいち海上の森保全活用事業の取組状況

「あいち海上の森条例」（平成18年4月1日施行）に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する「愛知万博記念の森」と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの幅広い取り組みを展開しました。

■主な取組

◎愛知万博記念の森としての保全のための事業

里山保全事業、森林育成事業、森林維持管理事業、自然環境調査事業

◎森林や里山に関する学習と交流のための事業

参加体験事業、自然環境・里山保全等の普及啓発事業、指導者養成・情報発信事業

◎愛知万博継承事業

愛知万博の理念・成果を発展させるため、人と自然の共生国際フォーラムの開催、あいち海上の森大学の開校

■取組の状況

○里山保全や森林の育成、森林の維持管理などに取り組みました。

事業項目		取組状況
里山保全事業	耕地管理	県有農地（体験学習プログラム「里の教室」で使用）の適切な維持管理のため、委託業務を実施 0.62ha
	水路浚渫等整備	県有農地への用水確保のため、水路へ流入した土砂の浚渫などの工事を実施
森林育成事業	人工林整備	人工林の健全な育成のため、過密林分の間伐等を実施 2.85ha
	広葉樹林整備	生物多様性の確保、里山景観の維持等を図るため、広葉樹林の整備を実施 0.78ha
	針広混交林整備	人工林を自然性の高い混交林へ誘導するため、伐採を実施 2.99ha
森林の維持管理事業	林道・作業道の補修等管理	森林の適切な管理や活動のために利用する林道及び作業道の維持管理工事を実施
	歩道等の整備・補修	森林の適切な管理や活動のために利用する歩道の維持管理工事を実施
境界整備費	境界管理のため、沈砂池しゅん濇等を実施	
遊歩施設整備	遊歩施設の適正な管理を図るため、遊歩道補修等の工事を実施	
事業用地維持費	事業用地の適正な管理を図るため、歩道整備、危険木伐採、草刈、センター内の除草等を実施	

○体験学習の実施、自然環境・里山保全等の普及啓発事業、人材の育成、連携促進などに取り組みました。

事業項目	取組状況				
	行事名等	定員	参加数	参加率	
参加体験事業	体験学習プログラム	森の教室（親子編） 2回	100	80	80
		森の教室（入門編） 4回1セット	200	23	49
		森の教室（技能向上編） 3回1セット	60	29	41
		里の教室 10回1セット	500	110	354
		里山のものづくり 3回	90	66	73
	調査学習会	海上の森の植物	30	48	48
		海上の森の夏キノコ	50	60	60
		海上の森の水生生物	30	45	45
		海上の森の昆虫	30	40	40
		海上の森の秋キノコ	50	62	62
		海上の森の動物	30	26	26
		海上の森の野鳥	30	39	39
	海上の森ツアー	海上の森ツアー 4回	200	98	49
里山遊歩施設利用プログラム	森の楽校（遊歩施設） 4回	200	126	63	
指導者養成	ムーアアカデミーセミナー	幼児森林体験プログラムの指導者育成 8回1セット	320	159	50
	森林ボランティア研修	森林ボランティアを始めるため 1回	20	11	55
自然環境・里山保全等の普及啓発事業	企業との連携	協定締結企業 5社 I N A X、第一工房、ナゴヤキャッスル、KDD I 豊田自動織機			
	全国の里山保全活動や施設との連携	あいち自然環境団体・施設連絡協議会（あいち自然ネット）の活動			
	学習プログラムの作成・提供	学習教材「春の自然観察ガイドブック」を作成			



体験学習プログラム（里の教室）



調査学習会（水生昆虫）



森の楽校

○海上の森の自然環境を保全するための基礎的な調査と情報整理・発信に取り組みました。

事業項目		取組状況
自然環境調査事業	森林モニタリング調査	森の遷移を長期的にモニタリングするため、自然林の植生状況を調査 5か所
	希少動物の生息状況調査	ムササビ及びホトケドジョウが生育する里山環境を維持保全するための基礎とするため、その生息状況を調査
	猛禽類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎とするため、オオタカ・ハチクマ等の生息状況を調査
自然環境情報等の収集整理・情報発信		<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の自然環境情報の収集・展示 ・データベースの更新 書籍の購入 ・「ムーアカデミー通信」の発行 4回

○愛知万博の理念を継承発展させるための事業に取り組みました。

事業項目	取組状況			
	内容	日時	場所	参加数
人と自然の共生国際フォーラム	テーマ「生物多様性から人と自然の共生を考える」 ～森林・里山にみるいのちのつながり～ ・基調講演 ・課題提起・意見交換 ・パネルディスカッション ・フォーラム宣言 ・交流会 ・現地見学会	平成 21 年 10 月 24～25 日 ※人と自然の共生国際フォーラム実行委員会を組織して実施 委員会 2 回開催 委員長 稲垣副知事	愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 海上の森及び県内森林林業活動現地 ※講演者 クリスティーヌ・フォン・ヴァイツゼッカー 川井秀一 香坂 玲 速水 亨 今村 薫	約 500 人
あいち海上の森大学	森林再生コース 国際交流コース 森林・里山環境教育コース ※国際ソロプチミスト瀬戸から国際交流コース留学生へ奨学金の支給(上限5万円/人) ※大学運営委員会で内容検討 2回開催	平成 21 年 7 月～平成 21 年 12 月 7/12 開校式 12/5 閉校式	あいち海上の森センター 研修室・海上の森 学長 マリ クリスティーン氏 副学長 稲垣副知事	修了/受講 森 12/14 国 5/ 5 環 14/16 計 31/35



人と自然の共生国際フォーラム
(基調講演：ヴァイツゼッカー氏)



あいち海上の森大学
(閉校式)

○海上の森でのCOP10に向けた取組

事業項目	取組状況
海上の森生物多様性ツアー プログラム作成	海上の森生物多様性委員会を設置・検討 ○生物多様性ポイントを巡る4コース設定
里山自然歩道整備事業	地元の「ため池プロジェクト」で検討し、ため池等里山環境の整備
ふれあい里山再生事業	県民参加のもとに谷津田を昔の技術で復元 ○谷津田再生活動4回、生きもの調査2回

○センターの適正な運営管理を図るとともに、センターの取組全般にわたる意見を聞く「海上の森運営協議会」を開催しました。

事業項目	取組状況
センターの管理・運営	施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、塗装、企画調整、樹木管理など ○施設利用者数（平成22年度） あいち海上の森センター 26,659名（通算 93,175名） 有料施設利用件数 工作室 7件 研修室 5件 ○スタンプラリーの実施（H19.10.20から参加者948人）
海上の森運営協議会	2回（10月13日・3月24日）開催 ○平成21年度海上の森保全活用事業の取組 ○平成22年度海上の森保全活用事業の事業計画 ○森林整備計画 等

○幼児向けの森林体験活動を推進するため、ムーアカデミーセミナーで指導者を養成するとともにフィールドの利用促進を図りました。

事業項目	取組状況
ムーアカデミーセミナー	幼児森林体験プログラムを実践する指導者を養成するため、保育士などを対象に開催 全8回開催、受講生29名
幼児森林体験フィールドの利用	オープン式公開講座(20.3.20)から22年3月末まで 延べ14回 1,628人



ムーアカデミーセミナー



体験フィールド

○平成21年度 あいち海上の森センター 視察・見学者等

月 日	曜 日	団 体 名 等	人数	備 考
4月11日	土	森のたんけんたい	50	
4月15日	水	名城大学	6	
4月28日	火	はちまん幼稚園	105	
5月1日	金	まふみ幼稚園	120	
5月8日	金	幡山東小学校	70	
5月20日	水	まふみ幼稚園	120	
6月1日	月	林野庁企画課	1	
6月6日	土	日本野鳥の会東京支部	25	
6月12日	金	東アジア次世代リーダープログラム	49	
6月16日	火	国土交通省庄内川事務所	20	
6月24日	水	林野庁経営課特用林産対策室	4	
7月4日	土	南山大学総合政策学外体験	20	
7月19日	日	品野地域三公民館	50	
7月23日	木	環境省国際ワークショップ	10	
8月6日	木	あいち自然ネット「夏休たんけん隊」	34	
8月19日	水	企業庁研修会	30	
8月28日	金	建設部研修会	15	
9月13日	日	あいち海上の森大学同窓会活動	7	
9月22日	火	カシノナガキクイムシ研修会	20	
10月4日	日	リニモウオーク	1,300	
10月9日	金	瀬戸市水南小学校市内探検	9	
10月11日	日	ミッドランドスクエヤー催事	50	
10月15日	木	カシノナガキクイムシ研修会	27	
10月18日	日	大韓民国全羅南道訪問団	15	
10月20日	火	JAICAカンボジア研修生	4	
10月25日	日	ボーイスカウト活動	19	
〃	〃	人と自然の共生国際フォーラム現地視察	39	
10月29日	木	名城大学経済学部	22	
11月4日	水	蒲郡市大塚公民館視察	8	
〃	〃	企業連携調印式	5	
11月10日	火	はちまん幼稚園	112	
〃	〃	名古屋市立春岡小学校総合学習	58	
11月12日	木	はちまん幼稚園	125	
11月15日	日	あいち海上の森大学同窓会活動	7	
〃	〃	守山区自治会自然散策グループ	100	
11月18日	水	公明党県議団視察	8	

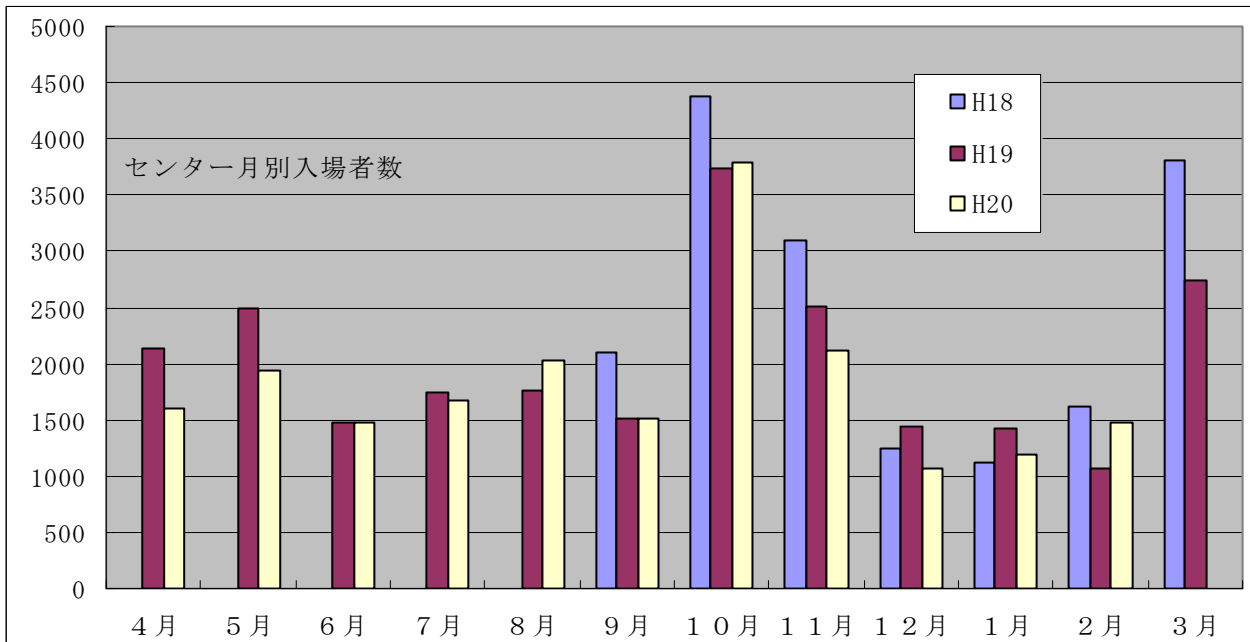
○平成21年度 あいち海上の森センター 視察・見学者等

月 日	曜 日	団 体 名 等	人数	備 考
11月25日	水	名古屋市千早小学校	19	
11月28日	土	名鉄ウォーキング	500	
12月2日	水	日韓土砂災害防止技術会議視察	105	
12月4日	金	瀬戸市立幡山東小学校	120	
1月15日	金	外務省、環境省視察	3	
〃	〃	国際アカデミー	10	
1月28日	木	名古屋市立神丘中学校職場体験	5	
2月19日	金	まふみ幼稚園	65	
3月6日	土	COP10支援室催事	80	
3月7日	日	上海万博視察団	13	
3月9日	火	菱野幼稚園	130	
3月11日	木	はちまん幼稚園	120	
3月12日	金	はちまん幼稚園	105	
計		49回	3,939	

【参考】

あいち海上の森センター入館者数の推移

開館から平成21年2月末まで	
累計	61,238人
平成18年度	17,348人
平成19年度	24,028人
平成20年度	19,862人
1か月平均	約2,000人



海上の森来訪者数

平成20年4月から平成21年2月まで

約105,900人

海上の森来訪者のカウント方法(H21.4~)

「海上の森入口駐車場」及び「サテライト」のエコトイレの使用回数
(自動カウント)から推計

来訪者数＝

(駐車場トイレ使用回数×56) + (サテライトトイレ使用回数×14) ÷ 2

主な意見（平成20年4月～平成21年2月）

来館者アンケート結果

◇道路案内・標識等

- ・分岐点や入口のはっきりした案内距離あるいは所要時間などが必要。
- ・過剰でなく自然の姿を保存した道標を設置してもらいたい。
- ・道に迷わないよう道標がほしい。
- ・海上の森の地図・ウォーキングマップがほしい。

◇センター運営等

- ・万博後、存続させる意義が不明。
- ・このような立派なものは必要ないと思います。
- ・何のための施設か理解ができない。
- ・良い施設です。楽しく過ごしました。
- ・しぜんがいっぱいありました。
- ・よく楽しめました。
- ・いろんなものがあってとても楽しかった(またきたい)
- ・エコトイレも良いですね。
- ・海上の森センターに来ると癒される。自然体験ができて楽しかった。
- ・もう少し遊べる場所をふやしてほしい
- ・建物内で簡単なおにぎり、お茶など飲食できると良い。
- ・喫茶コーナーなどがあるとよい。
- ・万博の映像の再上映をしてほしい。
- ・駐車場をもっと広く作って欲しい。
- ・すばらしいところです。もっと宣伝をしてひろめてほしい。
- ・いつまでも海上の森が残るよう、保護、管理、PRをよろしくお願いします。
- ・砂防池に水をためてもらいたい。

◇展示について

- ・子どもが遊べる展示を作って欲しい。
- ・とつてもいろいろなゲームがあって楽しい。かざりがかわいい。
- ・施設全体がとてもきれいで素晴らしいです。

◇遊歩施設

- ・遊歩施設今のままでよい。
- ・遊歩施設、無駄ではないか。
- ・子どもにも歩きやすくなっていると思います。
- ・雨の日はかなり滑りやすいので改善されるとなるとお良いと思います。
- ・繭玉広場、窯の歴史館、建物は夏場窓を開放してください。
- ・物見の丘に高さの標示があるといい。
- ・案内表示にぜひ時間と距離を入れてください。
- ・連理木の札を見やすいところに掛けてください。
- ・草花、木々に名前を掲示してください。